

第57回(2021年秋実施)学生生活実態調査 速報

全国大学生生活協同組合連合会

はじめに

前回の第56回学生生活実態調査(2020年秋実施)は、コロナ禍での初めての調査となり、コロナ禍での学生生活の変化や、その中での学生の戸惑いや苦悩が随所に現れる結果となった。

第57回調査(2021年秋実施)では、学生生活がその後どのように変化したかなどを見ることができる。

この速報では、学生生活充実度、登校日数、サークル所属、アルバイト等について、コロナ禍二年目の学生生活の状況を報告する。自由記入欄(大学に入学してよかったことや、困ったこと、悩んだことなどがありましたらご記入ください)の生の声も紹介する。 ※自由記入欄の声 = ■印

なお、本年3月1日に本報告を予定している。この速報で触れていない調査項目全般について報告する。

調査概要

- ・調査実施期間：2021年10月～11月
- ・調査対象：全国の国公立および私立大学の学部学生
- ・回収数：10,813人(30大学) ※前年は11,028人
- ・調査方法：Web調査(郵送またはメールで調査依頼し、Web上の画面から回答)

サンプル特性

1. 第57回学生生活実態調査は97大学生協が参加、22,481名から協力を得た。ただし、ここで紹介する数値は、地域・大学設置者・大学の規模などの構成比を考慮し、経年の変化をより正確にみるために指定した30大学生協の10,813名の集計値である。
2. 前回と比較して専攻の構成比に差異がなく、経年の比較にも耐えうる調査である。

大学設置者別	21実数	21構成比	20構成比
国公立	5,995	55.4	56.1
私立	4,818	44.6	43.9
総計	10,813	100.0	100.0

学部別	21実数	21構成比	20構成比
文科系	5,571	51.5	52.7
理工系	3,793	35.1	34.3
医歯薬系	1,449	13.4	13.0
総計	10,813	100.0	100.0

性別と専攻		文科系	理工系	医歯薬系
21 実 数	男性	2,497	2,670	507
	女性	2,878	1,007	882
	否回答	87	42	22
	無回答	109	74	38
	総計	5,571	3,793	1,449
21 構 成 比	男性	44.0	47.1	8.9
	女性	60.4	21.1	18.5
	否回答	57.6	27.8	14.6
	無回答	49.3	33.5	17.2
20 構 成 比	男性	45.7	45.0	9.3
	女性	60.9	22.1	17.0
	否回答	46.7	35.8	17.5
	無回答	55.0	28.6	16.5

学年別	21実数	21構成比	20構成比
1年	2,820	26.1	28.9
2年	2,827	26.1	26.1
3年	2,430	22.5	23.0
4年以上	2,736	25.3	22.0
総計	10,813	100.0	100.0

住居形態別		21実数	21構成比	20構成比	
自宅生(自宅・実家暮らし)		5,561	51.4	49.6	
自宅外生(寮生+下宿生)		5,252	48.6	50.4	
住 ま い 形 態 別	寮生	341	3.2	2.8	
	下宿生	4,911	45.4	47.7	
	アパート	2,744	25.4	28.5	
	マンション	1,659	15.3	15.4	
	学生会館	226	2.1	2.5	
	下宿	246	2.3	---	
	その他	36	0.3	0.4	
	下宿・Kなし(20年のみ)				0.1
	食事付下宿(20年のみ)				0.9
食 事 別	食事付き	414	3.8		
	食事なし	4,838	44.7		
総計		10,813	100.0	100.0	

*20年の「食事なし」の「下宿やキッチンなしの貸間」は、21年は「下宿」

*21年から「下宿」は「食事付き」+「食事なし」の合計値

報告概要

1. 学生生活充実度 前年からは回復したが、コロナ禍前には戻らず。2年生が低い。「あきらめた」の声も。
2. 平均登校日数はコロナ禍前の64%。(2019年4.4日→2020年2.0日→2021年2.8日)
3. オンライン授業と対面授業が同じ日にあることに苦労している学生が多い。不満・要望の声が多い。
4. サークル加入 20年1年生48.7%→21年2年生62.1%とかなり回復。一方、「今さら入りにくい」の声が目立ち、「所属したことがない・今後も入らない」が4人に1人。
5. 朝食摂取率は明らかに減少、朝昼兼用が増加。生活習慣への影響が伺える。
6. 2年生の4人に1人は対人関係のことに悩んでいる。

(1) 大学生生活充実度

①“充実している+まあ充実している”の推移

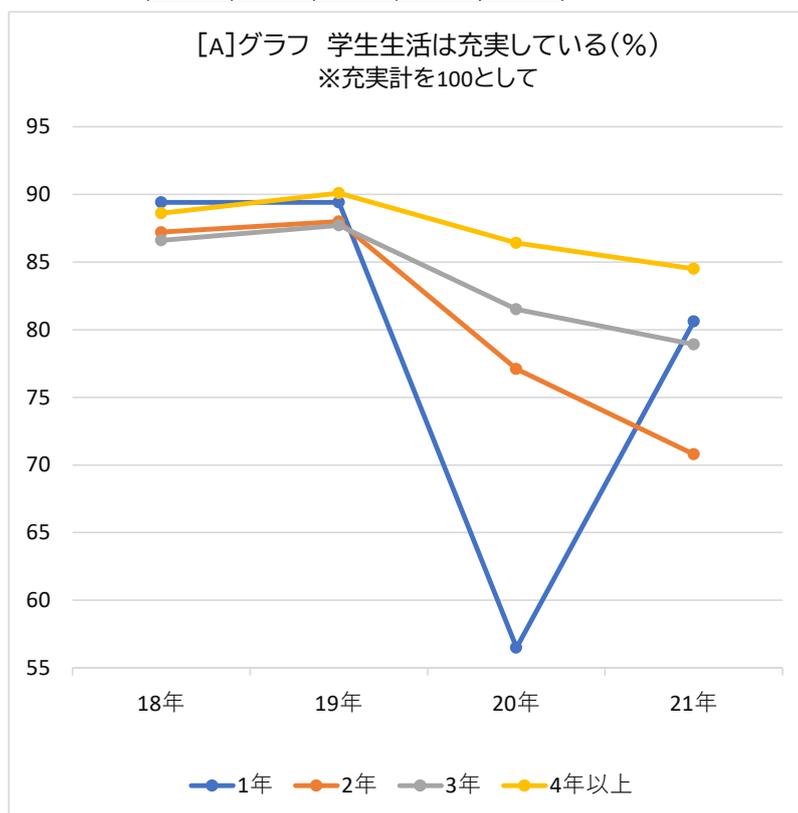
[A]	18年	19年	20年	21年
1年	89.4	89.4	56.5	80.6
2年	87.2	88.0	77.1	70.8
3年	86.6	87.7	81.5	78.9
4年以上	88.6	90.1	86.4	84.5
総計	88.0	88.8	74.2	78.6

現2年は20年は1年
なので、変化を追うと、
右表のようになる。 →
どの学年も数字が上昇。

[B]	18年	19年	20年	21年
現1年	---	---	---	80.6
現2年	---	---	56.5	70.8
現3年	---	89.4	77.1	78.9
現4年	89.4	88.0	81.5	84.5

回復だが全学年で最低

1. 1年生の充実度は急回復したが、コロナ禍前19年以前の水準には戻っていない。
2. 2年生以上の充実度は2年連続減少。コロナ禍の長期化の影響が心配される。
3. 現2年生は昨年は1年生なので、56.5%→70.8%に回復したと言える。[B]
4. とはいえ現2年生の充実度が4学年の中で最も低い。大学生生活の大半がコロナ禍であることが背景だろう。
5. 主に現2年生の特徴的な声を自由記入欄から拾ってみた(後述)。「あきらめた」というような声が目立つ。
6. 現1年生は、オンライン授業が多いことやサークル活動が十分できないことをわかった状態で入学していることが数字に表れているのだろう。



②大学生生活充実度・学年別 詳細

	1年			2年			3年			4年以上			総計		
	19年	20年	21年												
充実している	38.4	13.6	28.3	34.3	22.0	21.2	33.6	26.0	26.3	36.1	34.6	32.5	35.7	23.3	27.0
まあ充実している	51.0	42.9	52.3	53.7	55.1	49.6	54.1	55.5	52.6	54.0	51.8	52.0	53.1	50.9	51.6
充実している合計	89.4	56.5	80.6	88.0	77.1	70.8	87.7	81.5	78.9	90.1	86.4	84.5	88.8	74.2	78.6
あまり充実していない	8.7	30.2	15.9	9.7	18.3	22.7	10.4	15.1	17.1	7.7	10.9	12.7	9.1	19.4	17.1
充実していない	2.0	13.3	3.5	2.3	4.6	6.5	1.9	3.3	4.1	2.2	2.7	2.9	2.1	6.4	4.3
充実していない合計	10.7	43.5	19.4	12.0	22.9	29.2	12.3	18.4	21.2	9.9	13.6	15.6	11.2	25.8	21.4
総計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

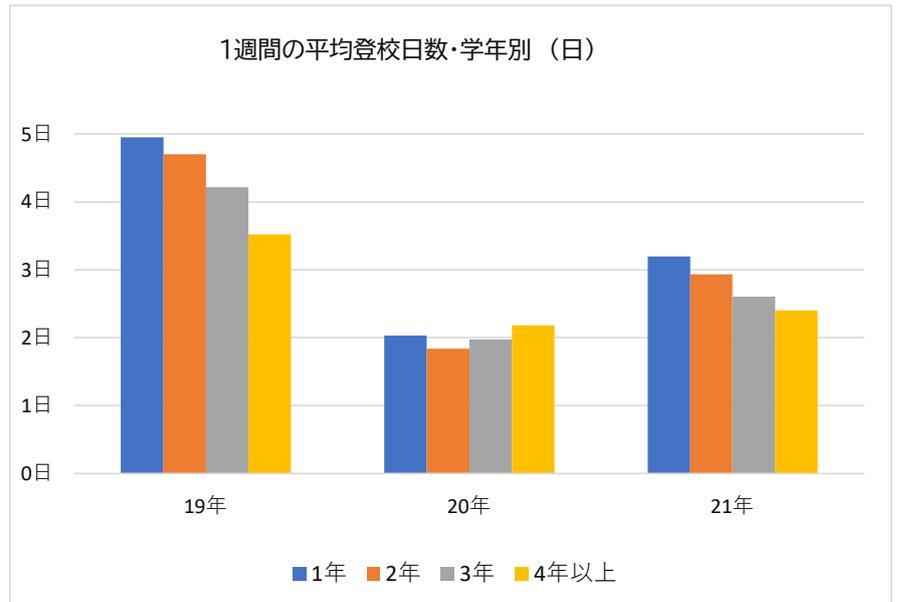
- 昨年度は3回しか大学(対面授業)に行くことが出来ず、友達がいなの中で、Twitter・LINEで繋がっている学生同士が助け合っていました。今年度は対面授業も少し増え、課外活動などでの繋がりも増えてきたので、ようやく大学生らしさを感じることができています。(2年/女性/自宅)
- 入学してからずっとコロナ禍で、入学した実感が無く、このまま卒業してしまうと、何のための4年間だったのか分からなくなる。特に去年は早く社会人になりたいと思うほどに大学生活に魅力を感じられなかった。サークルが出来ずに2年になってしまい、友達がほとんどいない、もう諦めている。ゼミ選びや就活について、気軽に相談したり愚痴を言える友達があまりいない。いつ何をすれば良いのかがつかめない。パソコンに向かうだけの授業だと、身につけているのか不安。パソコンやスマホを見る時間が長く、視力が落ちた。今、大学に入学して良かったことが思いつかない自分に焦る。(2年/女性/自宅)
- 勉学の場合だからとよく言われるとは思いますが、もっと遊びたかった、もっとやりたいことがあったという気持ちが強く、今の一回生ですら羨ましいです。この約二年、受験期もあわせると約三年、本当に何も無く、これから将来などにこの期間のことに触れる度に悔しくなります。三年以降は就活などで忙しくなるので、もう学生生活は諦めています、できることならもう一年、勉学趣味その他やりたいことをする猶予が欲しいと思っています。(2年/女性/自宅)
- 自分は一人暮らしをしている大学2年生なのですが、自分の学びたい学問を学べていることは楽しくてよかったですと思う。しかし、去年1年間は友達もできず、ただひたすら与えられる課題を一人でこなしていくだけで本当に精神的に辛かった。初めての一人暮らしで誰とも会話する機会がなく、慣れない生活をしながら授業を受ける日々でした。コロナ禍に加え、そんな精神状態であったためアルバイトができず、親に仕送りしてもらう日々でした。高い学費を払ってもらいながら親に迷惑をかけているという気持ちになりさらに辛かった。それでも大学は設備費を例年通りの金額に設定していた。例年通りの金額ならば納得できる理由を公表して欲しい。現在は対面授業も増え、友達もできやうと大学生になれた気がします。もっと身近にこのような大学生活の愚痴を吐き出せる環境にして欲しい。もっと一人暮らしの人を支援して欲しいと思った。難しい注文ですが検討していただきたいです。今回このような内容を知ってもらう機会を設けていただいたことに感謝します。(2年/男性/自宅外)
- 対面が少なかったが故に友達がいなけれど、まあこんなもんかと割り切っています。(2年/男性/自宅外)
- 初めにオンラインが多く、対面授業が履修できるようになっても取る気がなくなってしまった。週に一度しか会わない子ばかりなので仲良い友達もほとんどいない。大学も遠いため友達の家も遠く学校がなければ外で遊ぶこともあまりない。オンラインが多く時間ができたため、免許の取得や将来やりたいことのための資金を貯めるためにアルバイトが多くできたのはよかった。(2年 女性/自宅)
- コロナ禍に陥ってしまったので友達がいなまま2年次を終える。そのため、就職のことなどなにもわからず先輩から話を聞くこともできない。しかし急に先輩と話す場に行くのははばかりられるので、体験記などを載せてほしい。(2年/女性/自宅)
- サークルでさまざまな人達と出会い、様々な考えを知ることができたり、一緒に遊んだりすることができたことが大学に入学したことで一番良かった。コロナ禍のせいでサークル活動ができず、新一年生のために交流、ないしは勉強を教えるなどができずとても歯痒い思いをした。(3年/男性/自宅外)
- よかったことは自分の学びたいと思っていたことをしっかり学ばせていただいたことです。また、新たな交友関係を築けたこともうれしいです。一方でコロナが蔓延したことでなかなか友人に会えないまま授業がおわってしまい、各々の研究をするだけになってしまったのでその点で寂しさが残ります。以前のように大勢で集まって会食などしたいのですが、卒業までにはできるか不安です。(4年/女性/自宅)

(2) 1週間の登校日数

①平均登校日数・学年別 (日)

	19年	20年	21年
1年	5.0	2.0	3.2
2年	4.7	1.8	2.9
3年	4.2	2.0	2.6
4年以上	3.5	2.2	2.4
総計	4.4	2.0	2.8

1. 登校日数は、全般的ににやや回復。
21年2.8日は、19年の64%にあたる。
2. それでも「0日」が13.5%ある。
3. 2年生の平均日数は2.9日で、
1年生より0.4日少ない。
4. なお、大学ごとのバラツキは
非常に大きい。

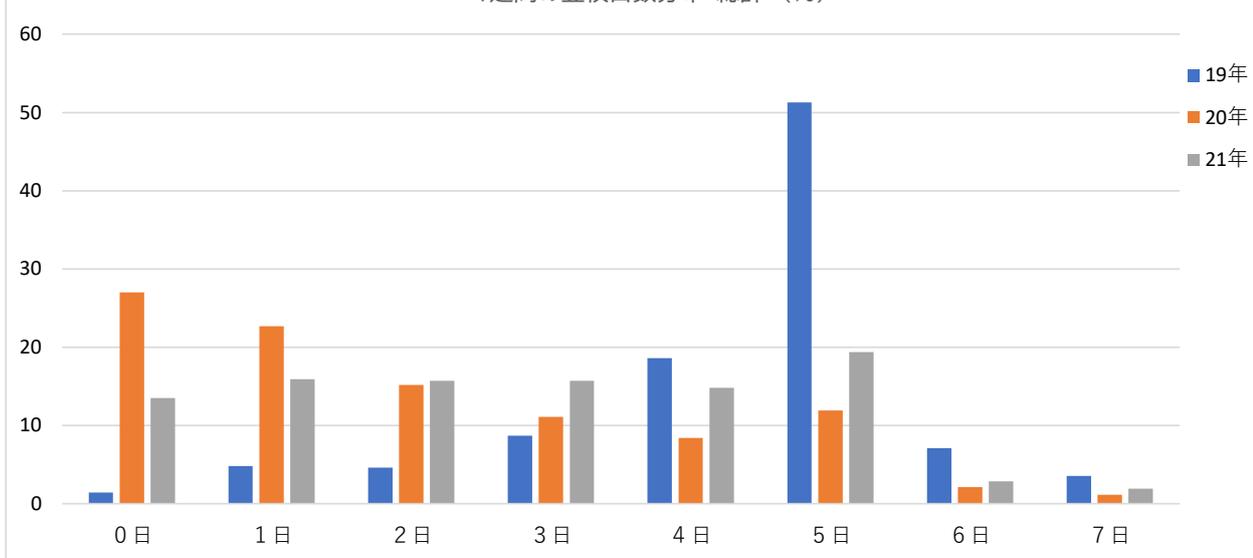


②1週間の登校日数分布・学年別

(%)

	1年			2年			3年			4年以上			総計		
	19年	20年	21年												
0日	0.5	23.5	8.5	0.4	30.4	11.4	1.0	25.3	13.8	4.2	29.3	20.8	1.4	27.0	13.5
1日	0.2	20.9	9.8	0.3	23.1	11.9	1.3	25.1	17.7	18.4	21.9	24.7	4.8	22.7	15.9
2日	0.2	19.2	14.1	1.1	14.5	17.8	6.4	16.2	18.6	11.5	10.0	12.6	4.6	15.2	15.7
3日	1.9	14.5	18.3	5.7	10.8	18.1	17.3	11.0	16.6	11.3	7.1	9.9	8.7	11.1	15.7
4日	14.8	9.6	21.4	24.2	8.7	16.5	24.2	8.1	13.1	11.4	7.0	7.6	18.6	8.4	14.8
5日	69.1	9.3	22.6	59.0	9.5	20.6	42.1	11.1	16.5	31.2	19.0	17.6	51.3	11.9	19.4
6日	9.0	1.8	2.9	6.1	1.9	2.3	5.3	1.6	2.1	7.9	3.3	3.8	7.1	2.1	2.8
7日	4.3	0.6	2.3	3.2	0.8	1.3	2.4	1.3	1.2	4.0	1.8	2.8	3.5	1.1	1.9
平均	5.0日	2.0日	3.2日	4.7日	1.8日	2.9日	4.2日	2.0日	2.6日	3.5日	2.2日	2.4日	4.4日	2.0日	2.8日

1週間の登校日数分布・総計 (%)



③1週間の登校日数と充実回答・学年別 ※1週間の登校日数を100として (%)

	1年			2年			3年			4年以上			総計		
	19年	20年	21年	19年	20年	21年	19年	20年	21年	19年	20年	21年	19年	20年	21年
0日	71.4	41.2	67.8	90.0	70.7	52.6	62.5	73.0	65.2	80.7	83.0	78.3	77.7	66.7	67.9
1日	100.0	47.5	62.7	57.1	73.8	58.5	78.8	79.7	70.5	92.4	85.2	82.8	91.2	70.7	71.8
2日	57.1	56.0	77.9	65.5	77.4	62.7	84.0	84.4	81.6	90.2	88.0	84.9	86.3	72.8	75.8
3日	80.7	67.5	80.4	87.2	85.8	71.7	86.9	84.9	83.1	89.7	90.1	85.2	87.4	79.2	79.2
4日	85.5	74.8	84.9	86.2	83.5	80.5	88.0	86.3	79.6	86.1	86.4	88.9	86.6	81.8	83.1
5日	89.7	76.2	88.4	89.0	85.0	83.0	87.9	90.4	88.8	91.1	90.2	89.4	89.4	86.0	87.2
6日	94.8	78.0	93.8	91.6	90.7	89.2	94.7	95.1	94.2	92.2	90.1	87.5	93.4	88.1	90.7
7日	92.4	75.0	90.6	86.2	100.0	89.2	95.1	100.0	89.7	89.4	88.4	93.5	90.6	91.5	91.3

1. 登校日数が多いほど、学生生活が充実していると回答する割合は高い。
例えば週4日登校の2年生（21年）は80.5%が充実していると答えているが、週2日だと62.7%だ。
この傾向は、20年→21年と変わっていない。
大まかに言って、週3日以上の実度は、2日以下より多い傾向だ。
2. 2年生の実度が特に低いのは、他の項目でも同様。
3. 1年生と2年生で、週2日以下の登校日数だと実度が特に低い傾向となっている。
4. 21年の50%台は、2年生の「0日」「1日」のみ。

④1週間の授業形態・学年別 (%)

※19年は調査項目なし

	1年		2年		3年		4年以上		総計	
	20年	21年								
すべて対面授業で行われている	4.1	5.7	4.9	9.1	8.0	12.7	17.8	19.7	8.2	11.7
対面授業とオンライン授業があり対面授業が多い	7.9	30.0	10.3	26.8	11.6	23.0	8.1	11.5	9.4	22.9
対面授業とオンライン授業が同じくらい	5.4	13.4	4.4	9.3	5.1	9.5	6.5	7.1	5.3	9.9
対面授業とオンライン授業がありオンライン授業が多い	60.5	41.3	49.4	43.2	48.5	40.5	21.7	16.8	46.3	35.4
すべてオンライン授業で行われている	21.5	9.2	30.1	10.9	25.3	12.5	29.8	15.3	26.5	11.9
大学による休講中	0.4	0.2	0.4	0.2	0.4	0.4	0.8	0.3	0.5	0.3
すでに単位取得済み	0.0	0.1	0.1	0.0	0.8	0.8	12.8	28.3	3.0	7.4
その他	0.2	0.1	0.2	0.3	0.4	0.6	2.6	1.1	0.8	0.5

1. 対面授業は増えているが、対面よりオンラインが多いとの回答が多い。
2. 「7割対面」「対面重視」と公表している大学も多いが、実態は異なるようだ。
3. 自由記入欄の声にあるように、同じ日に対面とオンラインがあることで困っている学生が多いようだ。
4. 困っていることとしては、対面がある日は大学内でオンライン授業を受けるため感染対策にならない、通学定期が買えない・無駄になる、大学内のWi-Fiが安定せず授業で困る、などが代表的な声。
 - 大学のWi-Fi設備が不安定すぎるので授業時間が実質60分になっていて困っています。一向に改善されません。(3年/女性/自宅)
 - 教養教科だけ積極的に対面に戻し専門教科はオンライン継続するのはやめてほしい。もう講義数が少ないのでこのままオンラインで大学が終わるのかと思うと寂しいし学びが浅いのでは無いかと不安を感じる(3年/男性/自宅)
 - 大学に入学してから対面授業がほとんどなく、友達をつくりにくい。同じ授業の中で友達ができたと思ったら、オンライン授業に変更になり、連絡をとらなくなってしまうことに困っている。(2年/女性/自宅)
 - 入学してからほとんどの授業がオンラインとなり、授業動画が30分ほどしかない授業もあるにもかかわらず、年間の授業料が110万8千円もするのは負担が大きいと感じる。
無利子、有利子の貸与型奨学金を両方借りているが、将来の自分の金銭面、経済面がどうなるのか非常に不安である。(2年/女性/自宅)

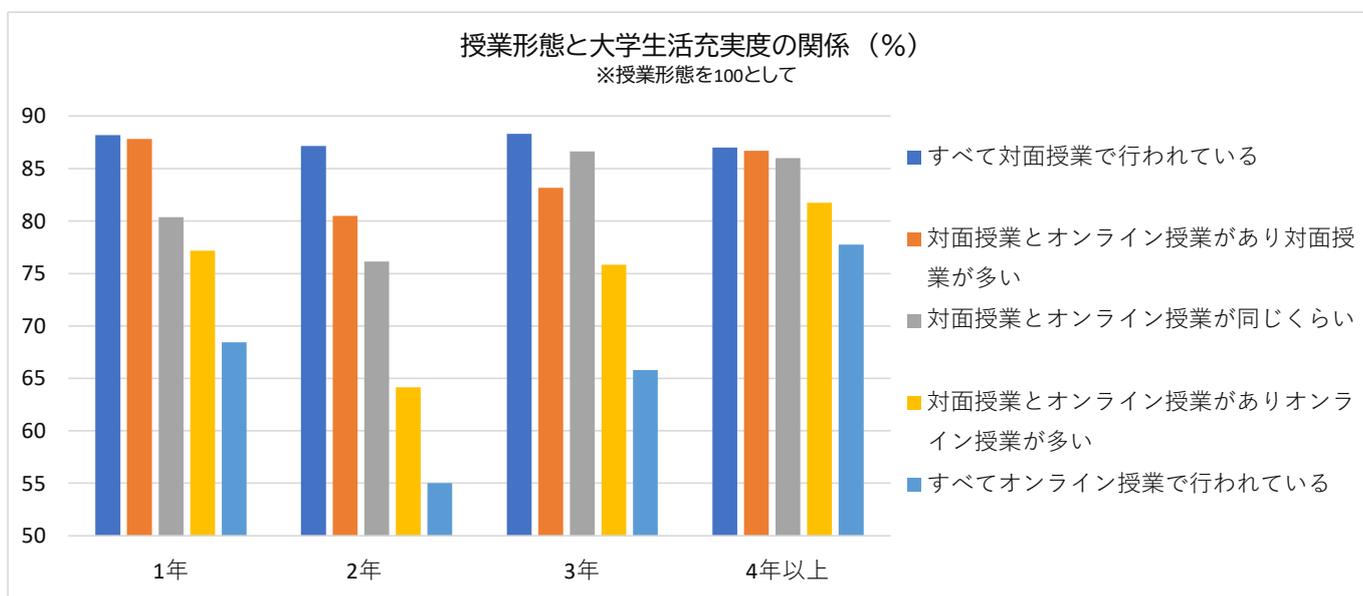
- 対面授業に切り替わったため定期を購入しましたが、結局一度行っただけで次の週からオンラインに戻ったことがあり定期代1ヶ月分の払い戻しができなくなり、数万円無駄にしました。最近一部対面授業になっていますが、毎日通うわけでもないことと以前のこともあり定期購入することができず、交通費がかなりかかります。休み時間に自宅に帰れる距離でもないのと同じ日にオンラインと対面授業が重なるととても面倒です。金銭面でも時間の面でもかなり苦労しているので、対面の日は全て対面にするや、オンラインの日は全てオンラインにするなど改善してほしいです。(3年/女性/自宅)
- 大学に行くまでに時間がかかるから、一日の中で対面が一つだけで他の授業がオンラインとかだと大学に来てる意味があまり感じられないし大変なので、個人的には対面登校日は全ての授業を対面で受けられるようにしてほしい。また、私の大学は2日に1回しか登校できないので、同じ授業で次に同じ人と会えるのが2週間後になってしまって友達ができにくいのが残念。(1年/女性/自宅)
- 殆どの授業がオンラインですが、オンラインの良さを生かした授業に満足しています。学びたいことがより深く学べてとても充実しています。ただ、教授や他の生徒との関わりが少ないため、そのような機会を設けていただけると、より充実した学びができるようになるのではないかと思います。(2年/女性/自宅外)

⑤授業形態ごと大学生生活充実回答・学年別

※学年授業形態を100として (%)

	1年		2年		3年		4年以上		総計	
	20年	21年	20年	21年	20年	21年	20年	21年	20年	21年
すべて対面授業で行われている	78.0	88.2	88.0	87.2	91.6	88.3	89.8	87.0	88.2	87.5
対面授業とオンライン授業があり対面授業が多い	79.3	87.8	86.9	80.5	87.4	83.2	87.8	86.7	85.4	84.4
対面授業とオンライン授業が同じくらい	69.4	80.4	82.7	76.1	84.5	86.6	84.1	86.0	79.5	81.7
対面授業とオンライン授業がありオンライン授業が多い	56.1	77.2	76.9	64.2	81.3	75.8	85.2	81.7	71.0	73.2
すべてオンライン授業で行われている	42.1	68.5	70.9	55.0	75.5	65.8	84.3	77.8	68.5	67.6
大学による休講中	58.3	66.7	100.0	66.7	66.7	55.6	84.2	87.5	78.8	69.0
すでに単位取得済み	40.0	50.0	71.4	0.0	81.8	80.0	83.9	87.2	80.0	86.8
その他		100.0	100.0	66.7	90.0	78.6	89.7	69.0	89.9	72.7

1. オンライン授業が多いほど、学生生活が充実していると回答する割合は低い。この傾向は、20年→21年と変わっていない。
例えば21年の2年生で充実しているとの回答は「対面授業が多い」層で80.5%だが、「オンライン授業が多い」層では64.2%と、かなり開きがある。
2. 「対面授業とオンライン授業が同じくらい」の充実度の数字を見ると、このあたりが分かれ目と言えそうだ。
3. 対面授業がオンライン授業よりやや多い状態を望んでいる学生が多いのではないかと推測される。



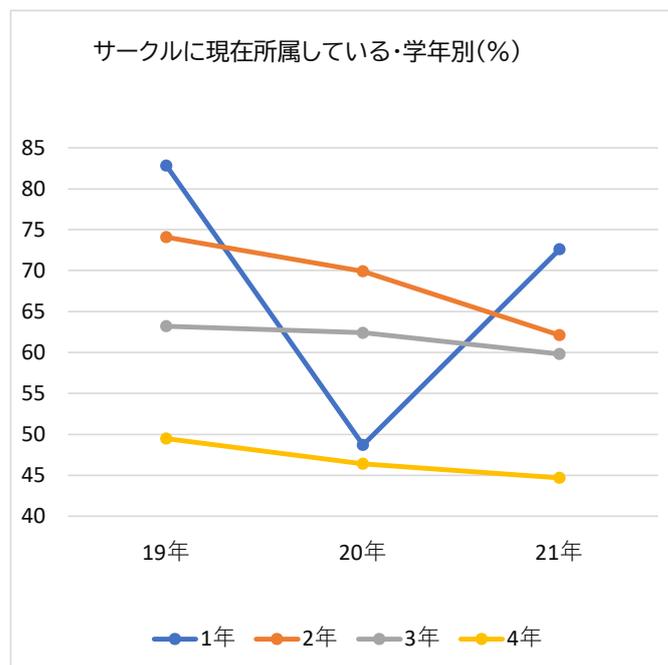
- オンラインと対面が併用されています。大学側からオンラインは原則自宅で受講するよう言われているため、友達はその通りに帰るが、私は通学時間が長く、結局大学でオンライン授業を一人で受けている状態です。仕方ないことだが、孤独で大学に行くことに対して積極的になれなかった。図書館の設備（自習スペース）が良いことが唯一大学に行きたくなる要因です。（2年/女性/自宅）
- 昨年度は3回しか大学(対面授業)に行くことが出来ず、友達がいない中で、Twitter・LINEで繋がっている学生同士が助け合っていました。今年度は対面授業も少し増え、課外活動などでの繋がりも増えてきたので、ようやく大学生らしさを感じる事が出来ています。（2年/女性/自宅）
- 大学入学後、オンラインやオンデマンド授業が中心である。友達と課題の確認等を授業終了ごとにできないため、先生がおっしゃったことの解釈が合っているかどうか、自宅で一人で講義を受けていると不安になることがある。通学回数が少ない分、大学で友人に会った際は話が盛り上がり、通学は友人と過ごせる貴重な機会である。（1年/女性/自宅）
- 興味があることを専門的に学ぶことができているので大学に入ってよかったと思う。今までの小中学校や高校と違い、好きな授業を選べるのがうれしい。しかし、新型コロナウイルスの影響で1年生の時にオンライン授業しか受けられなかったことやサークル活動が衰退したことで、人間関係が希薄になった。このことが将来に影響するのではないかという不安がある。勉学においてもフィールドワークや留学が気軽にできない状況になってしまったので、学びの幅が狭まってしまっていると感じることがある。（2年/女性/自宅）

(3) サークル

①サークルに現在所属している割合 (%)

	19年	20年	21年
1年	82.8	48.7	72.6
2年	74.1	69.9	62.1
3年	63.2	62.4	59.8
4年	49.5	46.4	44.7
総計	68.1	56.9	59.9

1. 1年生のサークル所属率がかなり回復しているが、コロナ禍前の19年水準には戻っていない。
2. 現2年生は1年生の秋にはサークル所属していなかったが、その後入った人が相当数いることがわかる。
3. しかし、今さら入りにくいという声（自由記述）も目立つ。
4. 現2年生は「所属したことがない・今後も入らない」が25.3%と他学年より際立って多い。



②サークル所属・学年別 詳細 (%)

	1年			2年			3年			4年以上			総計		
	19年	20年	21年												
現在所属している	82.8	48.7	72.6	74.1	69.9	62.1	63.2	62.4	59.8	49.5	46.4	44.7	68.1	56.9	59.9
以前所属していたが今はやめている	4.7	1.0	2.2	14.4	16.3	8.5	25.7	24.1	25.6	39.4	39.4	40.3	20.3	18.8	18.8
現在所属していないが今後入るつもり	3.2	36.5	10.9	0.7	1.3	4.1	0.1	0.4	0.5	0.1	0.2	0.4	1.1	11.0	4.1
所属したことない・今後も入らない	9.3	13.8	14.3	10.8	12.5	25.3	11.0	13.2	14.2	11.0	14.0	14.5	10.5	13.4	17.2
総計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

③サークル所属と大学生活充実回答・学年別

※学年サークル加入状態を100として

(%)

	1年			2年			3年			4年以上			総計		
	19年	20年	21年	19年	20年	21年	19年	20年	21年	19年	20年	21年	19年	20年	21年
現在所属している	91.7	66.4	84.5	91.0	80.7	77.7	92.3	85.7	84.0	93.9	90.0	89.8	92.0	80.1	83.5
以前所属していたが今はやめている	79.0	45.2	66.7	82.4	67.6	63.5	81.4	75.1	70.9	87.9	86.3	81.9	84.5	78.1	75.9
現在所属していないが今後入るつもり	78.9	44.7	68.5	63.2	75.7	47.0	100.0	77.8	75.0	50.0	75.0	63.6	76.5	46.0	62.9
所属したことない・今後もしも入らない	76.7	53.5	72.4	76.5	69.2	59.9	75.5	74.0	71.5	81.1	75.0	75.9	77.4	66.9	68.2

1. サークルに所属している層は、どの学年でも大学生活充実度が比較的高い。
2. 1年生の充実度が66.4%→84.5%と回復しているのは、サークル活動制約が20年より21年のほうが少ないこと、サークルに入りたくても入れなかった層が前年より減ったためだろう。
3. 2年生の充実度は、ここでも他学年よりも低い。

- 2回生になり、今更サークルに入りづらい。周りでサークルに所属している人が少ない。新歓などを経験したことがないため、サークルというものについてまいちわからない。(2年/男性/自宅)
- コロナの影響でサークルに入るタイミングを逃し、それ以外でも交友関係が広がらないことが不安です。(2年/男性/自宅外)
- 大学に入学して自由な時間が増えましたが、コロナでみんながどうやって過ごしているのかなど情報が不足していたこともあり、何をすればいいのか不安なこともありました。サークル活動などを通じて友達を作ったことで、生活が楽しくなりました。(2年/女性/自宅外)
- サークルや部活をやろうかいまだに悩んでしまう。春先に入ろうと思って新歓を見て回ったがそのあとすぐに全部活動が停止になってしまわずじまいだった。夏休みも特に解除されることはなく、もういいやと半ば自棄になってサークルなどはあきらめた。だがしかし、やっぱりまだ悩んでいる。サークルや部活をやっている友達を見ると、自分の大学生活が退屈で無為に思われてくるのである。今が1年生だったならと心底思う。まだ遅くはないのだろうか？まあどうせ今の2年生は時代に見放されたのだから、そこまで期待はしていない。入ったところでどうせ、第6波(笑)とやらが来れば再び中止になってしまうのだから。高校の方がはるかに学校生活は充実していただろう。プライベートは今の方がはるかに充実していて自由だが。(2年/男性/自宅)

(4) アルバイト

①半年間にアルバイトをしたか・学年別

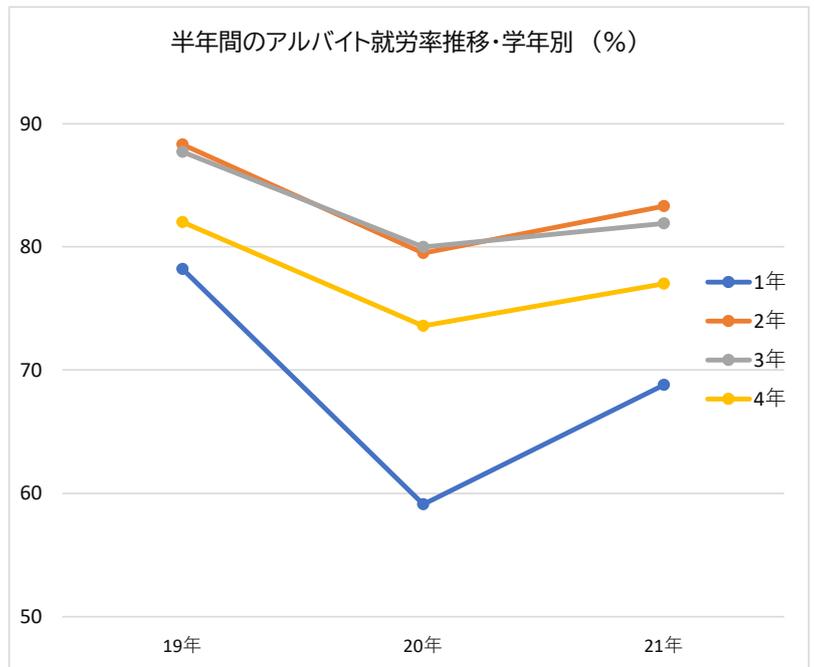
(%)

	1年			2年			3年			4年以上			総計		
	19年	20年	21年												
した	78.2	59.1	68.8	88.3	79.5	83.3	87.7	80.0	81.9	82.0	73.6	77.0	83.9	72.4	77.6
しなかった	21.8	40.9	31.2	11.7	20.5	16.7	12.3	20.0	18.1	18.0	26.4	23.0	16.1	27.6	22.4

アルバイト就労率推移 (%)

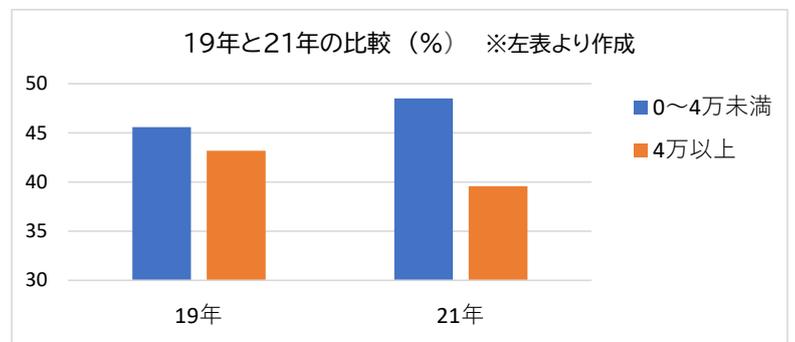
	19年	20年	21年
1年	78.2	59.1	68.8
2年	88.3	79.5	83.3
3年	87.7	80.0	81.9
4年	82.0	73.6	77.0
総計	83.9	72.4	77.6

アルバイト就労率は回復しているものの、コロナ禍前よりも1年生で約10ポイント、2年以上で約5ポイント低い。



②月々のアルバイト収入 — 1ヶ月の生活費より — (%)

	18年	19年	20年	21年
収入0円	20.0	19.1	27.4	22.5
2万円未満	6.1	6.1	6.1	6.3
2万円～	7.9	8.0	6.6	7.5
3万円～	12.8	12.4	11.1	12.2
4万円～	9.5	9.8	8.2	9.2
5万円～	17.9	19.0	16.4	17.5
7万円～	9.4	10.5	8.3	9.7
9万円～	4.2	3.9	3.2	3.2



- 19年から20年の変化は、全般的にアルバイト収入が減少したことだった。
- 20年から21年では、収入ゼロが減り、どの収入額の層も増えている。
- 19年と比べると、全体としては収入はコロナ禍前には戻っていない。(グラフ)

※参考:1カ月の生活費

(円)

	18年	19年	20年	21年
自宅生収入	67,750	67,480	62,820	63,630
自宅生支出	67,200	66,080	62,130	62,970
下宿生収入	127,280	129,860	122,250	125,280
下宿生支出	126,100	129,090	121,180	125,040
寮生収入	104,570	101,320	102,900	105,430
寮生支出	103,830	102,060	102,570	103,140

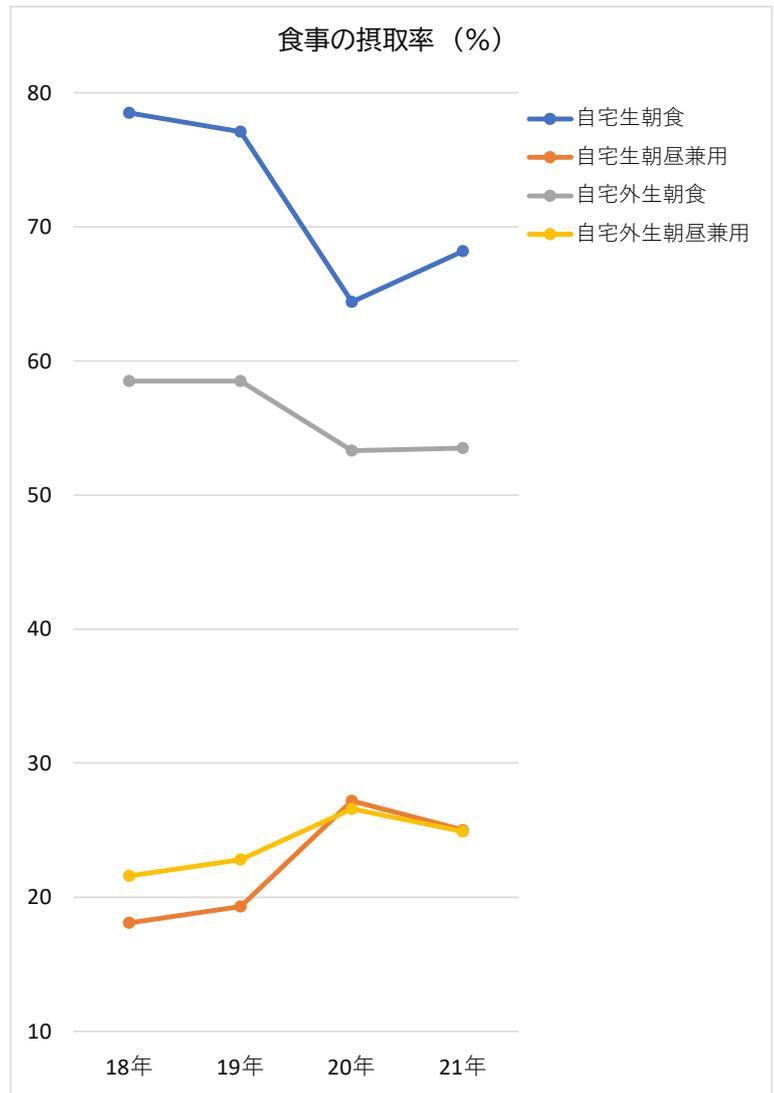
収入回復は僅か。
支出回復も僅か。
アルバイト収入が20年26,360円→21年29,130円と増。
収入が回復した分、支出も増えている。

1. 自宅生の収入・支出の回復が下宿生・寮生より小幅なのは、自宅にいる時間が多いことが要因だろう。
2. 逆に、下宿生・寮生は一人暮らしの生活維持のため、アルバイトなどで収入確保を図る傾向が自宅生よりも強いのだろう。

(5) 食生活・日常生活

① 食事の摂取率 (%)

		18年	19年	20年	21年
朝食	自宅生	78.5	77.1	64.4	68.2
	自宅外生	58.5	58.5	53.3	53.5
	合計	68.0	67.6	58.8	61.1
朝昼兼用	自宅生	18.1	19.3	27.2	25.0
	自宅外生	21.6	22.8	26.6	24.9
	合計	19.9	21.1	26.9	24.9
昼食	自宅生	85.3	84.9	82.1	82.9
	自宅外生	82.9	82.0	76.9	78.7
	合計	84.1	83.4	79.5	80.9
中間食	自宅生	22.2	21.1	19.1	19.5
	自宅外生	19.0	18.6	17.3	17.1
	合計	20.5	19.8	18.2	18.3
夕食	自宅生	84.4	85.3	89.0	88.7
	自宅外生	84.3	82.9	85.0	84.3
	合計	84.4	84.0	87.0	86.5
深夜食	自宅生	19.4	18.3	13.4	13.8
	自宅外生	20.3	20.9	17.9	17.7
	合計	19.9	19.6	15.7	15.7



1. 朝食摂取率がコロナ禍前の18年・19年よりもはっきりと落ちている。その分、朝昼兼用が増え、昼食がやや減っている。
2. 中間食、深夜食も、コロナ禍前よりも低い。1日2食傾向が強まっているのだろうか？
3. オンライン授業などで自宅・自室にいることが多くなったこと、夜間外出が減っているなどが生活習慣に影響していそう。

② 日常生活で気にかかっていること ※複数選択の18選択肢のうち、主なもの5項目の変化を見てみた。 (%)

	1年			2年			3年			4年以上			総計		
	19年	20年	21年												
生活費やお金のこと	43.5	41.1	39.1	43.9	41.1	40.9	40.9	38.2	39.1	44.0	39.0	40.8	43.1	40.0	40.0
授業・レポート等勉学上のこと	49.5	66.7	56.3	45.5	58.2	56.3	36.5	44.2	42.6	30.9	31.9	32.4	41.0	51.7	47.2
就職のこと	28.2	31.8	32.9	38.5	47.4	47.0	52.9	61.4	60.6	29.1	32.0	32.4	36.7	42.7	42.7
友だちができない・対人関係がうまくいかないこと	14.2	34.5	22.9	12.8	13.6	25.1	9.7	10.1	11.4	7.9	6.9	8.3	11.3	17.3	17.2
時間が足りないこと	27.6	25.5	27.3	26.8	27.4	29.3	27.0	23.0	26.5	24.3	21.4	24.5	26.5	24.5	26.9

1. コロナ禍前19年から、コロナ禍の20年・21年では、勉学上のこと、就職のこと、対人関係のことが増えている。生活費のことが比較的変動が少ないのは、勉学・就職・対人関係よりも比重が低いのだろう。
2. 2年生の4人に1人が対人関係で悩んでいる。
3. 「時間が足りない」が2年が比較的多く、他学年はコロナ前と同水準。20年→21年はどの学年も数値が上がっている。オンライン授業が多いと時間はありそうに思えるが、実態はそうではないのだろう。

- 精神的に辛かった時、カウンセラーを利用できたこと。民間のカウンセリングは料金が非常に高いが、大学の学生相談室は無料で手厚いサポートが受けられた。提携している病院も紹介していただき、少しずつ回復することができた。(1年/女性/自宅)
- 入学当初から周りの人たちの雰囲気が苦手な学校に行くのが嫌だった。現在もほとんど友達がいない。大学の支援センターでカウンセラーの先生に悩みを相談できたのはよかった。現在も定期的に通っていて楽しい。(3年/女性/自宅)
- 大学に入学出来て、学びたかった分野や将来の専門的な知識や技能を身につけられている事に、とても良かったと感じています。これからも日々精進していきたいと思います。又、一年生の時は、オンラインの日々で友達が作れなく苦しかったですが、今は登校する日が増えてきているので、新たな友達を作る事が出来ています。その為、困った事や悩んでいる事は、今の所ありません。(2年/男性/自宅)
- 今の2年生はずっとオンラインで最初あんまサポートされてる気がしなかった。しかたないけど1年生の方が対面や学校に行く機会が多くて羨ましい。実際サークルでも2年生が少なく1年が多い。2020年入学した人たちが取り残されていると思う。(2年/女性/自宅)
- コロナになって思うように授業を受けたり、サークル活動をできないことは、とても残念だった。しかし、制限がある中でいかに工夫できるかを考えることが大切だと学ぶ機会にはなったと思う。(3年/女性/自宅)
- コロナ前は、友達がたくさんできてとても楽しかったです。現在、友達と会う機会が全然ないため、みんながどのように、また、どのくらい就活を行なっているのかとても不安です。(3年/男性/自宅)
- 入学当初は様々な不安はありましたが、現在では充実した学生生活を送れていることを嬉しく思います。コロナ禍で思うように活動ができなかった時期もあり、4年間やりきったとは言いきいにくいですが、その中でも出来ることを見つけて行動することができ、この大学に入学して本当に良かったです。(4年/女性/自宅)
- 様々な背景を持った人々やいろいろな人の話を聞くことで、視野が広がった気がします。一人暮らしは大変な部分もありますが、自分で生活をしていくことを学んだり、大学生活では友達もでき、課題や実習など大変ですが、友達や先生の力もいただきながら、自分の学びたいことを学ぶことができたりしており、とても充実しています。コロナ禍でサークルやアルバイト、遊びなどが制限されているのはとても残念ですが、みんな同じ思いをしていると思って頑張っています。(3年/女性/自宅外)
- とにかくコロナで何もできていないことに焦っている。大学に入ったらサークル活動がんばりたかったが、他大生立ち入り禁止を受けて未だに活動再開できておらず、もう1年8ヶ月になる。最初は一時的な我慢だと思っていたが、すでに引退直前時期まで来ており、サークル費を稼ごうとアルバイトをするだけの日々になってしまった。(3年/女性/自宅)
- あまり大学生という感じがしない。自分の大学生活の中心である2年3年をのほとんどを1人で家で過ごした。ただ課題をこなす日々がつまらなく、想像していた楽しい大学生活ではなかったと思う。ただ、この状況でできることを探し、自分を見つめ直したり可能な範囲で新しい楽しみを見つけたりすることもできた。これも運命だと思いつかり受け止めることができている。(3年/女性/自宅外)
- 入学した時がコロナが流行りだした時だったので全てのイベントは中止となり、授業もオンラインでスタートだったので大学がどういうものなのかさっぱり分からなかった。たった一つの対面で行われていたスポーツの授業がなければ今のような楽しい大学生活は無かったと言っても過言では無いため、授業にとって対面が良いのかオンラインが良いのかはさておき、交友を作る上で1年は対面が重要だと感じた。(2年/男性/自宅外)